

「財務省が MMT 批判するのは他省庁や国会議員への優位性が下がるからでは？」

令和元年 5 月 8 日

● MMT 応援団長さんからの質問

銀行は信用創造で貸し出しが出来ると言う事ですが皆がいっぺんに引き落としに来たらどうなるんですか？単純な話で申し訳ありませんが銀行の仕組みについて教えて下さい。

● 西田昌司の答え

皆が一度に銀行から預金を引き出したら銀行はつぶれますし、預金を引き出そうと預金者が銀行の店頭で殺到するという取り付け騒ぎが実際に日本でも何回も起こっています。その中でも最大のものが昭和 2 年に発生（昭和金融恐慌）しましたが、その取り付け騒ぎを収めるために大蔵大臣に任命された高橋是清が見事に鎮静化させたのです。

高橋是清は、全国の銀行に 2 日間の一斉休業を要請し、その間に新たな 200 円札を急遽制定して 500 万枚以上を刷って銀行に届けました。さらに、その後の約 3 週間は 500 円以上の引き出しの猶予によって制限を加え、猶予期間中に 200 円札を追加で 750 万枚刷って銀行に届けましたが、取り付けに来た人は店頭で積まれた 200 円札を見て安心したそうです。このような高橋是清の英断が功を奏して、猶予期間が終了しても混乱には至りませんでした。

取り付けがあっても銀行がつぶれないように準備預金制度という制度がありますので、銀行は日銀の当座預金にある程度の預金をしなければなりません。黒田東彦氏が日銀総裁に就任してからは、日銀が銀行の国債を買い取っ

て日銀当座預金を増やすという量的緩和政策がとられ、今や日銀当座預金は400兆円を超えていますから、たとえ取り付け騒ぎが起きたとしても銀行がつぶれる心配はまずありません。

取り付け騒ぎは、ある金融機関が経営破綻するといったデマが引き金となるケースが多いのです。ですから、取り付け騒ぎが起こった場合は預金者に正しい情報を伝えて鎮静化しなければなりません。取り付けてタンス預金を増やしたところで仕方がないのです。

●山科 健さんからの質問

先日の「MMT問題の本質について」にて西田先生のおっしゃっていた事がわからなくて詳しく教えて頂きたいと思い質問しました。西田先生が、安倍政権になって賃金はベースアップで上昇に向かっているが、労働分配率は下がっているとの事ですが、労働分配率が下がるのに賃金が上がるというのはどう行った仕組みなのでしょう？企業の利益の伸びに対し給与支払い総額の割合が下がっているという事ですか？教えてください。

●西田昌司の答え

ベースアップによって基本給は上がっていますが、そのことと労働分配率とは関係がありません。

労働分配率の定義は「付加価値に占める人件費の割合」ですが、得た利益の内のどれだけを人件費に回しているかという指標です。労働分配率の低下は、企業が利益を人件費に回さずに内部留保として蓄えていることを意味します。基本給が上がっているといえども本来であればもっと上げてしかるべきなのです。

労働分配率が下がっているがために個人消費が減っていますし、企業も貯める一方で投資を減らしていますから、法人税を増税して内部留保を吐き出させる等の方策が必要です。

●さくらふぶきさんからの質問

財務省官僚は、『財務省設置法第三条の財務省の目的「財政の健全化」』というこの法律（自らの役割）に従っているだけではありませんか？であるならば、この財務省設置法第三条を、「財政の健全化」ではなく、「経済の安定成長」という文言に条文改正をすれば良いのではないのでしょうか？財務省がMMT 批判するのは、自分らの権益である『限られたパイの配分を決める役割』という、他省庁や国会議員に対する権力（優位性？）が下がってしまうのもあるかもしれませんが。

●西田昌司の答え

財務省設置法を改正すべきであると私も思います。

財務省の前身である大蔵省の時代には、財政の健全化なる目標はありませんでした。平成 13 年に大蔵省を解体して財務省と金融庁に分離しましたが、このきっかけはノーパンしゃぶしゃぶ事件です。金融機関の MOF 担（大蔵省に頻繁に出入りして様々な情報を官僚から聞き出す役割の担当者）と呼ばれる人から大蔵官僚がいかかわしい接待を受けていたことが発覚して大問題となり、金融部門は金融庁として切り離されました。この時、財務省設置法に「健全な財政の確保」と書いてしまったがために、「入るを量りて出づるを制す」ということわざよろしくプライマリーバランスの黒字化を財務省が振りかざすようになってしまったのです。

プライマリーバランス黒字化目標が自縄自縛となって日本経済をデフレに

追いやってしまっているのですから、このような法律は一刻も早く見直さなければなりません。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>